

福商PTAだより



発行
北海道福島商業
高等学校PTA
編集
PTAだより
編集委員
印刷
(有)三和印刷



「人との繋がり」
PTA会長
吉能 秀美

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、卒業の門出を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。また、校長先生はじめ先生方や地域の皆様にはご指導・ご支援いただき心から感謝申し上げます。

昨年からの新型コロナウイルス感染症によって、多くの行事が中止、規模を縮小または延期し、開催したこの一年でした。卒業生の皆さんは最後の学校祭も規模を縮小し開催されてとても残念ですが、一生涯記憶に残るものだと思います。

さて、これから皆さんは、新たな目標を持ち、新たな学業に、新たな職業へと一歩を踏み出していくことになります。日本経済は緩やかな回復が見込まれますが、新型コロナウイルス感染症再拡大のリスクが家計・企業の行動を慎重化させる状況が続く、経済活動はコロナ禍前の水準を取り戻すには至らないう見通しです。皆さんは、この時期を乗り越えて進まなくてはなりません。このような時こそ、同じ学び舎で学んだ朋友、恩師と共に苦難を乗り越えてきた経験を活かし、自分の夢と目標に向かい、計画を立て、実行、確認、評価、改善をして進む道を見つけてください。

今皆さんはそれぞれの夢を持ち、それに向かってこの学校を旅立ちようとしています。その夢を大切にしたいと思えます。夢に向かい努力することは、素晴らしいことです。大切なのは夢に向かって努力したものが発揮されるときです。その時、その人が持つ人間力がその人の強さ、そして、その人を支えようとする手を差し出してくれる人がいるという人間関係からなると思います。人は良いときは意外と気が付かないのですが、少しでも落ち込んだ時は、周りから差し出された手のありがたみを知ります。これは日々から人の人との接し方に表れます。あなたはどんな人付き合いをしていきますか？ あなたは何かあったら手を差し出したい人はいますか？ あなたが手を差し出してくれば、あなたに何かあった時、必ず周りの人が手を差し出してくれる、そういう人間関係、人の繋がりを築いて欲しいと願います。そうすれば、皆さんの夢に向かって進むことができるのではないでしょうか。

これまで出会った人、これから出会う人、みんな何らかの形でこれからの皆さんに関わりを持つことになると思います。だから良い人との繋がりを作って下さい。最後になりましたが、保護者の皆様には、PTA活動に対して多大なご理解、ご協力を賜りお礼申し上げます。



「越える、その先へ」
校長
天野 慎也

雪と今しばらくのお付き合いとなりますが、暦の上では桜の咲く3月となりました。春が待ち遠しく感じる中、高等学校の課程を終え、新たな道へと進む卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。

保護者の皆様におかれましては、お子様を育てたご苦労に敬意を表しますとともに、本日晴れの日を迎えられたことをお祝い申し上げます。3年間の高校生活を過ごしたお子さんが、心身とも大人へと成長した姿をご覧になり、今日までのお子様との出来事が胸に去来し、喜びもひとしおと存じます。

さて、2020年の2月末から新型コロナウイルス感染症拡大により、昨年度の卒業式や4月の入学式はどうなるかなど、混乱した状態を経て、その後「緊急事態宣言」が発出され、学校の臨時休業という事態となりました。令和2年度の学校行事は中止や変更を余儀なくされ、できる範囲のことを実施することとなり、内容として、10月に規模を縮小、変更した「New潮祭」として1日日程で開催しました。生徒会の皆さんを中心に短い期間の中、内容の検討、準備、実施と大忙しを取り組みました。内容はコンパクトになりましたが、今年度唯一の大きな行事として生徒の皆さんの心に残る思い出となりました。多くの行事が変更や中止となったため、保護者の皆様は学校行事のお手伝いをしていただく機会がはばたけなくなり、お子さんが学校で活動する様子を見ることが難しい状況でした。本来であれば、行事で親子が元気に頑張っている姿をご覧になっていたことが残念です。

多くの社会活動に影響を与えていた感染症ですが、来年度もこの状況が継続される可能性があります。早い時期に落ち着くことを願っております。人類は幾多の困難を乗り越えてきた長い歴史があります。感染症もその一つであり、紀元前の時代から流行の痕跡があったそうです。インフルエンザをはじめとする感染症の多くは、予防と早期の効果的な治療が有効とされていますが、根絶はなかなか難しいようです。感染症が発生するたびに公衆衛生や社会環境、医療環境や人々の意識変化などにより、未然防止対策を身に付けてきました。今回の感染症対策の1つに、「新しい生活様式」の推進があります。私たちが生活スタイルの変化や注意すべき点をしっかりと押さえ、その実践を継続していくことで感染防止につながります。

現在、令和の新たな日本型学校教育の構築が求められております。子どもたちには、AI、ビックデータ、IoTなど急激に変化する時代のなかで豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の作り手になることができるよう、その資質・能力を育むことが不可欠です。目の前の事象から解決すべき課題を見出し、主体的に考え、多様な立場の者が柔軟で協働的に議論すること、社会全体が答えのない問いに対して、納得解を生み出すことができます。それを自分の暮らしに地域に還元し、社会参画意識を高めることで日本や世界の社会貢献につながります。

卒業生の皆さんには、本校で学んだことを基礎として社会に学び、成長を続け、困難で大きな壁を乗り越えながら、心と暮らしが豊かになるような取り組みを期待しております。最後にありますが、保護者の皆様には本校の教育活動、PTA活動にも本校発展のためご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和2年度PTA事業報告

【前期事業報告】

4月15日 令和2年度PTA・後援会役員会兼総会
(於：本校視聴覚室)：懇親会中止

4月16日 福島町PTA連合会三役・理事会
(於：福島中学校)：中止

5月8日 令和2年度福島町PTA連合会総会
(於：福島中学校)：書面開催

5月21日 北海道高等学校PTA連合会道南支部役員会
及び総会：中止

6月 第70回北海道高等学校PTA
A連合会大会石狩大会：中止

6月26日 福島町PTA連合会三役・
理事会

7月27日 (於：福島中学校)
木村前PTA会長北海道高
等学校PTA連合会感謝状
授与式(於：本校校長室)

【後期事業報告】

9月24日 第1回PTA役員会(於：本校会議室)
【議題】①浴衣着付け補助②PTA研修会③
生徒支援活動検討④卒業記念品
浴衣着付け講習会(講師：鳴海洋子様 他4名)
：参加者：PTA会員3名
New潮祭(新潮祭代替行事)着付け補助
福島町PTA連合会三役・理事会議
(於：福島中学校)
福島町PTA連合会研究大会
(於：福島町福祉センター)
：参加者：PTA会員1
名、教職員5名
北海道高等学校PTA連合
会道南支部研修会(於：ホ
テル函館ロイヤル)：中止
【議題】①事業報告計画②
予算決算③新役員選出
PTA学年別懇談会：参加
者：PTA役員・会員12名
第2回PTA役員会
(於：本校会議室)
【議題】①PTAだより執
筆分担②生徒支援活動検討
第67回同窓会入会式
第67回卒業証書授与式
PTA記念品贈呈・PTA
だより発行

3月26日
2月1日

12月22日
12月3日

11月20日

11月1日

10月21日

10月6日

9月24日



学校行事を振り返って

New潮祭(新潮祭代替行事)

三年 佐藤 英 絵

コロナの影響で中止になった「新潮祭」の代わりとして行った「New潮祭」。午前は、浴衣を着て校舎前の駐車場で踊り、午後からは、クラスTシャツに着替えてステージ発表を行いました。ステージ発表では、生徒会役員として皆がより楽しめるように、例年行っている「フクボン」「お絵かきです」に「有志発表」にプラスして、「ピング大会」と「eスポーツ観戦」を企画しました。ピング大会では、豪華景品も用意しました。多少進行ミスもありましたが、全員で盛り上げ、とても楽しい時間でした。今回のNew潮祭は、これまでの学校祭とは異なり、町を踊り歩くことも模擬店を出すこともできませんでしたが、最後までみんな笑顔で楽しんでくれたと思うので、思い出に残るものとなりました。正直、準備期間が進路活動と被ってしまいかかなり大変でしたが、70期みんなと協力して良い学校祭になり、達成感でいっぱいでした。私は、同級生の1人に「大成功だったよ」と言ってもらえたことが一番嬉しかったです。



体育大会

二年 村上 皇 汰

体育委員長になって、初めての仕事が体育大会でした。最初は委員長としてみんなをまとめることができるかと不安でした。その上、新型コロナウイルスの影響でいつもとは違う運営にもなり、きちんと進行できるか心配でした。

しかし、運営も大きな問題はなく、生徒一人ひとりがしっかりルールやマナーを理解してくれました。指示を出さなくても周りを見て動いてくれました。体育委員会のメンバーにも支えられ、たくさんの助けがあつて大会を運営することができました。

自分自身も競技者としてこのような状況下でもチームのみんなと楽しむことができました。たくさん行事がなくなってしまうと思いますが、その中でも体育大会が無事にできたことにとても感謝しています。

販売実習

三年 水島千聖

私は、新型コロナウイルスによる影響の中、自分たちで開発した商品を、実際に販売することはできないと思っていました。しかし、無事に昨年から案を出し、試作品を作ったりしてきた物が形になり、「どんぶらコンブラーメン」を作ることができました。商品開発の際には、どのような麺、スープにするかや、協力してくれる企業の調査などがうまくいかず、物を作ることの難しさを知ることができました。

販売実習では、校内・町内販売の他に七飯の道の駅でも販売を行いました。三か所とも私たちが予想していた以上のお客様にラーメンを購入していただき、驚きました。売れるだろうかという不安もありましたが、完売することができたので嬉しかったです。壁にぶつかることや思うようにいかないこともありましたが、三年間で一番いい経験ができました。



就職について

三年 木下世望

私は、高校に入学する前から進路先を大沼プリンスホテルにしようと決めていました。そのため、早い段階から資料を見たり、インターネットで調べたりすることができ、特に困ることもなくスムーズに進路のことを進めることができました。

しかし、新型コロナウイルスの影響で私が就きたいと考えていた部署が限定されたと聞き、違う企業も何個か考えました。せっかく決まっていたのにと思っていたのですが、先生の話の詳細を聞くと、ホテルのウェイトレスなどの方だったと分かり、安心して就職活動することができました。

私は、早い段階で大沼プリンスホテルに就職しようと思っていたおかげで、高一から高三にかけて少しずつ情報を集めることができました。その結果、比較的焦ることなく就職活動することができました。後輩の皆さんにも早めの行動をおすすめします。

進学について

三年 吉能英恵

私の卒業後の進路は、北海学園大学への進学です。この進路を決めるにあたって私が苦労したことは、学校をどこにするかを決定することです。自分の学びたいことと学校の専門的な分野は合っているか、学校卒業後の就職についても大学在学中からしっかりと考えることができる環境であるかなどを重視しました。

私は指定校推薦という方法で入試を受けました。今年例年と違って面接が無く、書類のみの選考でしたが、三年間の成績や検定取得数、志望理由の作文などで合否が決定します。だからこそ、日頃からの積み重ねが非常に大切であると感じました。

私は今現在で、全商検定一級を五種目取得しています。卒業した先輩方にはさらに結果を残している人もいます。私はこれからその先輩方に負けないように、引き続き努力したいと思います。

各種検定試験合格者

令和2年度資格取得者数(令和2年2月16日現在)

全国商業高等学校協会主催

簿記実務検定

1級2名 2級1名 3級11名

1級財務会計

2名 2名

1級原価計算

2名 2名

会計実務検定

5名 5名

情報処理検定

ビジネス情報 1級1名 2級1名 3級7名

ビジネス文書実務検定

1級1名 2級1名 3級7名

商業経済検定

1級1名 2級5名 3級7名

珠算電卓実務検定

1級1名 2級6名 3級7名

珠算

1級1名 2級7名 3級1名

普通計算部門

1級1名 2級7名 3級1名

英語検定

1級1名 2級7名 3級1名

各賞表彰の記録

◇第48回防火書道コンクール

最優秀賞 佐藤 英恵

◇福島町「けんこう」標語

優秀賞 吉野 英恵

◇入賞者

秀作 水島 千聖

◇部活動大会報告

バスケットボール部

令和2年度第32回函館支部高等学校バスケットボール秋季大会(兼)

第73回北海道高等学校バスケットボール選手権大会函館支部予選会

9月19日(土) 1回戦 対 54 大野農業高校

9月20日(日) 2回戦 対 142 函館大谷高校

●陸上競技部

第53回道南高校新人陸上競技大会

8月29日(土) 男子

400m 西澤 龍星 7位

1500m 村上 皇汰 3位

5000m 五十嵐俊悟 4位

第50回道南秋季陸上競技大会

10月3日(土) 男子

400m 西澤 龍星 16位

800m 村上 皇汰 4位

1500m 村上 皇汰 6位

5000m 五十嵐俊悟 13位

5000m 五十嵐俊悟 13位

5000m 五十嵐俊悟 13位



「15人と一緒に成長できた3年間」

三年A組担任 白 幡 広 大

縁があつて社会人、そして教員として2年目となる平成30年の4月に入学式を行い、初めての担任として皆さんと接してきました。検定試験や新潮祭、見学旅行など沢山の行事を経験し、気付けば平成が終わって令和へ、そして卒業式。あつという間の3年間だったと思います。

さて、入学式初日に先生が話した3つの身に付けてほしい力は覚えていますか？それは「継続する力」、「協力し合う力」、「社会人に必要な力」の3つです。1学年次はまだ考え方も言動も幼い部分が多く、このまま本当に高校生として成長できるのか、社会人になることを見据えられているのか、非常に心配でした。しかし皆さんの成長を様々な場面で感じる事ができ、例えば各考査や検定試験、進路試験にはクラス全員で試験対策をしながら、そして励まし合いながら取り組むことができていました。特に皆さんの成長を感じた部分が社会人に必要な力の部分です。

この力の答えは沢山あると思いますが、そのひとつは「どんなことにも失敗を恐れず、挑戦する」ことだと考えています。販売実習に挑戦、大人数の前での発表や司会に挑戦、クラス議長や班長への挑戦など・・・もちろん失敗や反省すべき部分もあると思いますが、挑戦しなければ自分の欠点にも気付かず、それと同時に人は成長しません。就職者は様々な仕事を通して、進学者は専門分野の学びを通して成長してください。誰一人欠けることなく卒業式を迎えられることを嬉しく思います。3年間ありがとうございました。

最後に、様々な思いを持ってお子さんを福島商業高校に入學させていただいた保護者の皆様の期待に応えられたかは分かりませんが、自分の出来る限りの力で担任業務をいたしました。保護者の皆様にご迷惑をお掛けすることがたくさんあったと思いますが様々な場面で温かくご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。

三年間を振り返って



三年 保護者

三年生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。高校生活三年間、楽しい事や苦しい事がたくさんあったと思います。私自身も子供と一緒に悩み、苦しい日々もありました。それでも先生方や仲間のお支えもあり、親子共に学び成長していった三年間となりました。また、三年生では今までにないウィルスとの闘いの中で本当に大変だったと思います。それでも様々な行事を通して個々に学び、仲間の大切さを知り、成長をしていく姿に驚かされました。この先もそれぞれの場所、困難を乗り越え頑張って過ごしてください。これまで御指導いただいた先生方、本当に感謝しています。ありがとうございました。



三年 保護者

三年生の皆さん、保護者の皆様この度はご卒業おめでとうございます。三年前の入学式での皆さんは新しい制服を身に纏い何処かまだ幼さが残っていた記憶がありますが、今日の皆さんの立振る舞いを拝見すると自信に満ち溢れているように感じています。三年間で数々の検定試験や生徒が少ない中での学校行事等、近くで見ている大変なことが多く、途中で文句を言いつつも最後までやり遂げ達成し、友人達と遊んで楽しんでる息子を見てみると、この福島商業高校を選んでよかったなと思います。三年生の皆さんは殆どが小学校からの同級生ですが、卒業後就職や進学等それぞれの道に進むこととなります。高校生活とは異なり、親元を離れた社会に出ると自由な生活が待っています。それは別に様々な義務が伴い、色々な世代の方との付き合い、仕事の葛藤や様々な問題等で壁にぶつかる事もあると思いますが、高校生活で培った物を発揮し、あきらめず最後までやり遂げる事を願っています。数年後同級生皆が全員元気に集まり、先生を囲みながら高校生活の思い出を語らい合うその日まで頑張ってください。

編集後記

寒さの中に春の気配が感じられる季節となりました。卒業を迎えられた生徒の皆さん、保護者の皆様、本年度も吉能会長をはじめ、PTA役員、会員の皆様に多大なるご支援とご協力をいただきまして、無事に一年間のPTA事業を終えることができましたことを心よりお礼申し上げます。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、様々な行事が中止・延期となり、PTA活動がままならない状況が続きました。PTA会員の皆様には、生徒たちが頑張る姿や普段の生活の様子を見る機会を設けることができず、事務局としても心苦しい思いでした。そのような中でも、こちらからやむを得ず業務をお願いした際には快くご協力いただき、感謝の念に堪えません。来年度は様々な工夫をしながら、会員の皆様に参加をしていただきたいと思います。今回のこのPTAだよりを通して、今年度の生徒たちの活動について知っていただくことができればと思います。

春は別れの季節と言われますが、何かが始まる季節でもあります。来年度も多くの保護者の皆様とともにPTA活動を行い、よりよい学校づくりを展開していきたいと思っております。今後とも本校PTA活動へのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

(文責 PTA事務局)

